経済産業省

2015 DENSAN ACADEMY

プロデュース力 produce

マネジメント力 management

コミュニケーション力 communication

情報伝達力 transmission

マーケティング力 marketing

グローバル思考力 Inbound

デザイン力 design

地域ブランド力 branding

伝統工芸の未来を担う人材育成講座　平成 27 年度 経済産業省委託事業

DENSAN ACADEMY 2015

8 月 8 日 (sat) 開講
募集開始のご案内

応募締切：
2015 年 7 月 17 日 (fri)

実施期間：
2015 年 8 月～ 12 月 全 4 回

募集人数：
定員　約 40 名
※応募者多数の場合は、事務局にて審査のうえ受講生を決定する場合がございます。

DENSAN ACADEMY 運営事務局

参加無料
募集要項をご確認のうえお申込み下さい

□ 開催概要（募集要項）
□ 講座カリキュラム①②
□ 講師プロフィール

伝統工芸の未来を担う人材育成講座　平成 27 年度 経済産業省委託事業

DENSAN ACADEMY 2015

8 月 8 日 (sat) 開講　2015 年 8 月～ 12 月 全 4 回 19 コマ

「マネジメント」「マーケティング」「デザイン」「情報伝達」「流通」などの各分野でご活躍のプロフェッショナルな方々を講師として、これからのつくり手にとって必要な、販路開拓や商品開発のベースとなる知識を体系的に取得することのできる講座です。これからの日本のものづくりの成長をリードするために必要な「個々の成長」を目指し、自分自身をブランディングし、将来的に自分の力で商品を売っていくことができるノウハウや幅広い知識を身に着けることを目指します。

DENSAN ACADEMY 2015 で学べること

Point 1　地域の特徴や自分達が持つ理念・技術力等を、デザインを通じてどのような「ストーリー」として伝えていくかが重要です。地域産業のブランディング実績多数の講師陣により、そのために必要な「**デザイン力**」「**地域ブランド力**」を学びます。

Point 2　"売れる" 商品を作り、実際に販売へ繋げていくためには、ターゲットとする消費者ニーズを把握、適切な販路開拓をする必要があります。実際の流通業界やマーケティングのプロの講師により、" 売れる" 商品を消費者に届けるために必要な「**マーケティング力**」「**プロデュース力**」を学びます。

Point 3　ものづくりは継続が要であり、継続するためには自律的な経営を成り立たせる必要があります。経営的な視点からものづくりに取り組むために必要な、企業やつくり手としてのビジョンや事業計画などを、講師指導のもと講座にて各々が作成し、「**マネジメント力**」を学びます。

Point 4　2020 年の東京オリンピックに向け、これからの時代は、グローバルな視点を持ったものづくりや、商品の魅力を海外のバイヤーや消費者にどう伝えるか？という点が益々必要となってきます。それらを実践するための「**情報伝達力**」「**グローバル思考力**」を学びます。

Point 5　講座で習得したことを活かした試作品発表の場として、JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2015 の間、「伝統工芸 青山スクエア」での展示を行います。消費者アンケートや講師陣の講評会を通じ、講座を通じた成長点、更に磨き上げが必要な点等を確認することで、新商品・ブランド開発へと繋げます。

Point 6　毎回初日の講座終了後に、講座受講者や講師に加え、デザイナーやバイヤー等が参加する交流会を開催。異なる視点や発想、アイディアを持った様々な人達と交流することで、人脈が広がるだけでなく「**コミュニケーション力**」が身につきます。

Requirements 開催概要

実施期間	2015 年 8 月～ 12 月 全 4 回 第 1 回　8 月 8 日 (sat)・9 日 (sun) 第 2 回　9 月 5 日 (sat)・6 日 (sun) 第 3 回　10 月 3 日 (sat)・4 日 (sun) 第 4 回　12 月 12 日 (sat)・13 日 (sun)
実施会場	経済産業省（予定） 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-3-1
応募資格	経済産業大臣が指定する「伝統的工芸品」（右記参照）の製造に従事し、従事開始から 15 年以内の職人
受講料	無料 ※会場までの交通費・宿泊費は自己負担となります。 ※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。
募集人数	定員　約 40 名 ※応募者多数の場合は、事務局にて審査のうえ受講生を決定する場合がございます。
応募締切	2015 年 7 月 17 日（金）　正午
申込方法	NPO メイド・イン・ジャパン・プロジェクト HP 内の「DENSAN ACADEMY」お申込みﾌｫｰﾑに必要事項を記載の上、お申込みください。
主 催	経済産業省
後 援	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
企画運営	NPO メイド・イン・ジャパン・プロジェクト

伝統工芸にいま求められていること

伝統的工芸品産業の市場は、昭和 50 年のピーク時と比較すると、1/4 に減少し、企業数、従事者数ともに減少傾向にあります。衰退の要因として、需要の低迷、現代のライフスタイルに沿った商品開発の遅れ、消費者ニーズに関する情報不足等があげられます。その一方では、日本の伝統的工芸品の持つ「手わざ」の魅力は現在急速に見直されつつあり、職人の技術を活かした、モダンなデザインの商品は国内外から高い評価を受けています。芽生えつつある伝統的工芸品に対する再評価の兆しを、一時の流行として終わらせるのではなく、確固たる日本のブランドとして形成していくためには、2020 年東京オリンピックに向け、日本に対する関心が各国で高まっている現段階からの取組が重要となっています。まさに今、伝統的工芸品の職人が流通・経営・情報発信等に係る基礎的な知識を身につけ、作り手自身が販路開拓や商品開発に必要な基礎知識を体系的に習得する仕組みづくりが求められています。

「伝統的工芸品」とは

一般の「伝統工芸」などの呼び方とは別に、「伝統的工芸品」という呼称は、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律 (伝産法)」で定められたものです。「伝統的工芸品」とは、主として日常生活で使用するものであること、主要工程が手作業中心であること、主たる原材料や技術・技法が１００年以上継承されていることなどを満たした工芸品です。平成２７年６月現在、経済産業大臣が指定する「伝統的工芸品」は全国に２２２品目あり、織物や陶磁器、和紙などバラエティに富んでいます。

本講座に関するお問合せ先
DENSAN ACADEMY 運営事務局
NPO メイド・イン・ジャパン・プロジェクト
〒107-0062 東京都港区赤坂 9-6-30
tel. 03-5413-3243 / fax. 03-5413-3236　mail. nbm@madeinjapan.jp

お申込みは
こちらから➡　NPOメイド・イン・ジャパン・プロジェクト　検索

伝統工芸の未来を担う人材育成講座

DENSAN ACADEMY 2015 講座カリキュラムvol.1

平成 27 年度 経済産業省委託事業

第１回

8/8 (sat) 講師 赤瀬 浩成

1 11:00-14:00 マネジメント力
ブランドを知り 経営戦略を考える

□特別ゲスト
一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
専務理事 酒井 正明

特別ゲストとして酒井正明氏をお迎えし、伝統的工芸品産地の現状や、この講座全体を通してこれからの伝統工芸士に何を学び身につけるべきか？経営戦略の必要性など、未来の伝統工芸や職人への熱い想いを語ります。

8/8 (sat) 講師 下川 一哉

2 15:00-18:00 マーケティング力
モノづくりの精度を上げる マーケティングとブランディング

消費者ニーズの認識、魅力的な商品開発など、製品を売り出すセールスプロモーションの方法などを学ぶ他、マーケティングの知識を自製品で活用できるよう講座を通して深めていきます。

8/8 (sat)

3 19:00-21:00 コミュニケーション力
異業種交流会
若手バイヤー10名との意見交換・懇親会

講座受講者や講師に加え、毎回様々な業界職種の人達が参加する交流会です。同じつくり手としての課題やモチベーションを共有し、信頼できる仲間が増えるだけでなく、異なる視点や発想、アイディアを持った様々な人達と交流することで、将来的にはお互いのビジネスの相乗効果となり、人脈形成に繋がります。
第1回は、バイヤー10名をご招待。バイヤーの視点にたったものづくりなど、一緒に語り合いましょう。
※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

8/9 (sun) 講師 松坂 香里

4 10:00-13:00 マーケティング力
THE COVER NIPPONの つたえてきたこと

「日本のものづくりの継承と発展」を掲げるメイド・イン・ジャパン・プロジェクト運営の『THE COVER NIPPON』が、消費者にどのように伝えてきたか、売れている商品や産地との取り組みなどの実例とともに紹介し、バイヤーからみる売れる商品とは何か学びます。

8/9 (sun) 講師 大重 亨

5 14:00-17:00 マーケティング力
刺さるストーリーがある 商品を開発するために

「上質で、丁寧な暮らし」をモットーに、衣食住すべてを総合的に提案するライフスタイルカンパニー『ACTUS』のものづくりの様々なストーリーを学びます。

第２回

9/5 (sat) 講師 柳原 照弘

6 11:00-14:00 デザイン力
なにをしたいかと なにをすべきか

ものづくりにおいて、「つくり手」「つたえ手」「つかい手」の関係性の重要性を、いくつかの事例を参照しながら学び、つくり手の思考を広げていく為の実践ワークショップを行います。

9/5 (sat) 講師 桐山 登士樹

7 15:00-18:00 地域ブランド力
伝産ブランドへの ブランドフォーメーション
伝産のブランド体系考

伝統工芸士による極めたカテゴリーと日常的に製作しているカテゴリー、デザインによる新たなカテゴリーの三ブランドに体系化し、その意味とそれぞれの戦略を学びます。

9/5 (sat)

8 19:00-21:00 コミュニケーション力
異業種交流会
消費者10名との意見交換・懇親会

第2回は、日本のものづくりに関心の高い消費者10名をご招待。消費者からみた、伝統工芸品の価値や未来など一緒に語り合いましょう。
※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

9/6 (sun) 講師 赤瀬 浩成

9 10:00-13:00 マネジメント力
夢を語り具現化する
事業計画書をつくり 実行するための方法とは

ものづくりをするうえで、つくり手にとっての経営理念や事業計画の重要性を知り、ビジョンやターゲットを策定し実際に事業計画をつくる方法を学びます。

9/6 (sun) 講師 古田 菜穂子

10 14:00-15:30 グローバル思考力
IN & OUTの循環による世界に 通用する日本の「ものづくり」とは?

グローバルな視点での世界に通用するものづくりや、インバウンド(訪日外国人旅行者)戦略の中で、伝統工芸をどのように位置づけていくべきかを学びます。

9/6 (sun) 講師 桜井 里子

11 15:40-17:00 情報伝達力
ソーシャルメディアを活用し 見込み顧客を獲得する

自分で作ったものの価値を正しく伝え広くPRするため、情報発信のツールとして必要不可欠なfacebook等の実践的な活用方法を事例を紹介しながら学びます。

※天候および講師の病気等、やむを得ない事情により、講座日時を延期、または変更になる場合があります。
※やむを得ない事情により、予定の講座内容の一部を変更、及び代理講師により実施する場合があります。
※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

プログラム内容（全４回×１９コマ/継続受講）

伝統工芸の未来を担う人材育成講座

DENSAN ACADEMY 2015 講座カリキュラムvol.2

平成 27 年度 経済産業省委託事業

第３回

10/3 (sat)

講師 下川 一哉

12 11:00-14:00　プロデュース力

伝統工芸とデザイン
大切なのはデザインプロデュースとデザイン戦略

伝統工芸産業の今後の方向性を見定めたデザインプロデュースや、幾つかの実例を挙げながら、伝統工芸における意匠権の登録やデザインの活用例も盛り込み、知的財産権を活かした戦略をわかりやすくお伝えします。

10/3 (sat)

講師 赤瀬 浩成

13 15:00-18:00　マネジメント力

計画を創り 達成する
事業計画書を作成し 実行するための方法とは

前回の講座で作成した事業計画書を具体的に活用するために、実行計画・収支計画に落とし込みます。また事業計画を実際に実行するための、体制の構築や、予実管理の方法を、それぞれの計画書に沿って学びます。

10/3 (sat)

14 19:00-21:00　コミュニケーション力

異業種交流会③
若手デザイナー10名との意見交換・懇親会

第3回は、若手デザイナー10名をご招待。デザイナーからみた伝統工芸や未来のものづくりについて、熱く語り合いましょう。

※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

10/4 (sun)

講師 村澤 一晃

15 10:00-13:00　デザイン力

カタチの意味とデザインの役割

モノにはすべてカタチがあり、それらにはすべて意味があります。カタチの持つ意味やモノの背景を改めて知ることで、今まで見えていなかった「モノの本質」が見えてきます。本質的なモノづくりは、持続性のあるモノづくりへと繋がります。

10/4 (sun)

講師 桐山 登士樹

16 14:00-17:00　地域ブランド力

伝産ブランドのブランディング
日常を強みに変えるアクション考

慣習化されたビジネススタイルから脱却して、新たなビジネススキームを創出するブランド戦略を具体的なケーススタディーをもとに学びます。

第４回

12/12 (sat)

監修 赤瀬 浩成

17 11:00-18:00　プロデュース力

JTCW*出展商品 講評会及び個別相談会

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2015の開催期間中(10/24-11/3)、第1回-3回の講座で学んだことを活かした商品を、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会運営の「伝統工芸 青山スクエア」にて展示し、一般消費者によるアンケートを実施。その結果と、各講座を担当する講師陣のプロフェッショナルな視点による講評を聴きます。自分自身の商品の講評だけでなく、多品目の講評を聴くことで、自分にはない視点やものづくりのヒントが含まれおり、気付きや新しい発見となります。

[JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK]
詳細はこちら➡ http://jtcw.jp/

※個別相談会も開催予定ですが、出展商品の種類・数により、講座スタイルを変更する場合があります。
※商品出展に関する詳細は講座内でお知らせします。
※出展に関する諸経費は個人の負担となります

12/12 (sat)

18 19:00-21:00　コミュニケーション力

異業種交流会④
今までの参加者・講師が集結

最終回の第4回は、全講座を担当する講師陣に加え、3回にわたる異業種交流会の参加者が集合します。一緒に学んできた仲間や参加者と更なる懇親を深め、日本の伝統工芸を支える同士として、将来のビジネスパートナーとして、人脈形成を築きます。

※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

12/13 (sun)

ナビゲーター 松坂 香里

19 10:00-13:00　マーケティング力

ナビゲーターと一緒にめぐる 東京人気店 店舗視察

街中、華やかに彩られ、一年で最も繁忙期である12月に東京の人気店がどんな商品を扱い、どのようなディスプレイをしているのか、ナビゲーターと一緒に店舗視察します。講義で学んできた新たな視点による視察は、店舗や商品を見る角度の変化により、新しい気付きが得られ、なにより自分の成長を感じることができます。

※天候および講師の病気等、やむを得ない事情により、講座日時を延期、または変更になる場合があります。
※やむを得ない事情により、予定の講座内容の一部を変更、及び代理講師により実施する場合があります。
※異業種交流会にかかる飲食費は自己負担となります。

プログラム内容（全４回×１９コマ/継続受講）

2015 DENSAN ACADEMY

講師プロフィール

国内外において、各分野の一線で活躍するプロフェッショナルな講師が登場し、バラエティ豊かな講座を開催します。

赤瀬 浩成
Hiroshige Akase

メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 代表取締役
1964年生。約20年間の家業経営で株式会社アカセ木工を、婚礼ダンスメーカーから総合家具メーカーに変革。
2005年、『日本のモノづくりの継承と発展』のため、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト㈱を立ち上げ、直営店である東京ミッドタウン「THE COVER NIPPON」をはじめとした日本製品の流通や、日本のモノづくりを伝える人材育成「ニッポンブランド・マイスター講座」等運営、つかい手へ啓蒙。日本各地のモノづくり支援・流通支援など、地域産業活性化のプロジェクトを多数手掛ける。『日本のモノづくりの新しい価値の創出』を目指し、日本全国を駆け回っている。

大重 亨
Toru Oshige

株式会社アクタス・執行役員兼マーケティング部長
1961年京都市生まれ。同志社大学法学部卒業後、株式会社アクタス入社。マーケティング部門および商品開発部門の責任者を兼任後、現職ではアクタス全社のブランディングとマーケティングを担当。

桐山 登士樹
Toshiki Kiriyama

株式会社TRUNK 代表取締役、デザインディレクター
1952年生。広告・マーケティング、デザインの編集者を経て、1988年株式会社 TRUNK 設立。デザインフィールドを戦略的に広げる活動を開始。YCSデザインライブラリー、建築・デザイン展プロデュース、異業種交流会座長、ネットマガジン「JDN」の立上げ等で、クリエーティブで横断的なスキームを構築。1993年より富山県総合デザインセンター設立に向けて活動。当初、企画部長、現同センター、デザインディレクター。2005年からはミラノサローネでLEXUS、CANON、AISIN のプロデューサー。2007年からは JETRO、2014 年からは DENSAN(伝統的工芸品産業振興協会) の海外販路開拓のプロデューサー。2015　年ミラノ国際博覧会日本館の広報・行催事プロデューサー。「BITOWA」「KANAYA」のプロデューサー。

桜井 里子
Satoko Sakurai

明治大学政治経済学部卒業後、11年間、新聞やWebメディアでの制作（デザインおよびコーディング）・編集・取材・ライティングに携わりました。メディア経験の中で、中小企業や個人事業主の抱える課題を知り、“地域や伝統産業の再興”を目指したいと強く思うようになる。2012年、ガイアックスのインバウンドマーケティング制作ディレクターとして参画し、新しいWebマーケティング概念・手段であるインバウンドマーケティングを実践。 メディアおよびインバウンドマーケティングの実績経験から、新たなサービスモデルとして2015年1月、市民参加型ものづくり支援コミュニティサイト「伝統サポーターズ」を社内起業で立ち上げ、現在に至る。

下川 一哉
Kazuya Shimokawa

株式会社意と匠研究所 代表取締役
1963年生。2008年から2013年まで「日経デザイン」（日経BP社）編集長。経済産業省や特許庁などのデザイン関連委員、企業、自治体、デザイン団体主催のデザインコンペの審査員、「Design Channel」「Tokyo Award」など。デザイン情報テレビ番組のコメンテーターを務める。2014年に日経BP社を退社。㈱意と匠研究所を設立し、代表に就任。

古田 菜穂子
Naoko Furuta

岐阜県観光国際戦略顧問
山形県ASEAN戦略アドバイザー
furuta & associates 代表
2009年4月岐阜県観光交流推進局長に就任。岐阜県内での新たな観光資源づくりを行うと同時に、国内外プロモーション事業に従事し、2013年にはシンガポールからの誘客数伸び率全国2位、タイ、マレーシア等からの誘客数をすべて全国ベスト10位内にランクインさせるなどの成果につなぐ。2013年、公務員任期終了後は、岐阜県・観光国際戦略顧問に。そのほか、観光プロデュース、人材育成、観光、食、モノの国内外での販路開拓プロデューサーとして活動中。

松坂 香里
Kaori Matsuzaka

株式会社TOKYO EYES 代表
メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 統括マネージャー
女子美術大学卒業後、欧米ブランドの服飾雑貨の企画デザインに従事。改めて海外から見た『日本の価値』に気付き、2007年よりメイド・イン・ジャパン・プロジェクトに入社。東京ミッドダウン「THE COVER NIPPON」「ニッポンブランド・マイスター講座」をディレクション。2010年、株式会社TOKYO EYES設立。
バイヤーの視点を活かした、産地のブランディングや商品開発、店舗・展示会等のコーディネート、HP・カタログ等販促物の企画デザイン、など幅広い領域で活動。日本全国のモノづくり支援実績多数。

村澤 一晃
Kazuteru Murasawa

ムラサワデザイン代表
垂見健三デザイン事務所を経て、89年イタリアに留学。
90年よりセルジオ・カラトローニ デザイン建築事務所（ミラノ）に勤務。94年、ムラサワデザイン開設。
これまでに19製品がグッドデザイン賞を受賞。
家具を中心とした生活道具全般のデザインを手がける。地域性と工場の個性を活かした製品開発を行いながら、継続性のあるモノつくり環境を創出する。「デザインは生活や行動のすべての中にある」を信条として、現場で手を動かし、それぞれのメーカーと関係を育てていく股旅デザイナー。

柳原 照弘
Teruhiro Yanagihara

プロダクト/空間デザイナー
2002年に自身のデザイン事務所を立ち上げ、国境と文化とジャンルの境界を越えたプロジェクトに関わる。有田焼400年事業、　2016/ クリエイティブディレクター、デザイナー。
主な仕事：OFFECCT/スウェーデン、PALUCCO/イタリア、SERGIO ROSSI/イタリア、KARIMOKU NEW STANDARD/日本、1616/arita japan/日本、TYP/日本など。
フランス国立美術研究所パーマネントコレクション（KARIMOKU NEW STANDARD：STOOLS,PILE）。

（※アイウエオ順）